

報道関係者各位
プレスリリース

2013 年 8 月 17 日
株式会社大川印刷

**東日本大震災の津波で倒壊した寺院柱使用のエレキギター、
南三陸で供養と寺院へ奉納。アース・ウィンド・アンド・ファイアーへ寄贈も。**

株式会社大川印刷（横浜市戸塚区）代表取締役 大川哲郎が、特定非営利活動法人メディアージ（宮城県石巻市）代表 大矢中子氏、つなげるつたえるプロジェクトの木村ゆかり氏、そして椎野正兵衛商店（東京都世田谷区）代表取締役 椎野秀聰氏と協力し、東日本大震災の津波で倒壊した徳性寺（宮城県本吉郡南三陸町）の柱から製作したエレキギターが、徳性寺で供養され、1本が奉納される。供養当日は社会貢献バンド「O's（オーズ）」によるミニライブが行われる。供養を終えた「徳性寺ギター」で演奏され、同時に被災地への思いから作曲された「柱の歌」も披露される。

また製作された4本のギターの内2本が8月11日ホテルオークラ（東京都港区）にて、来日中の米国ファンクミュージックバンド「アース・ウィンド・アンド・ファイアー」のギタリスト、グレゴリー・ムーアー氏とモーリス・オコーナー氏に椎野氏から手渡されました。椎野氏は「バンドの全員がこの取り組みを『素晴らしい』と言ってくれた。事情はよく説明したので、復興支援の演奏を世界各地で演奏してくれればと思う」と述べられた。

スケジュール 8月30日（金）徳性寺（宮城県本吉郡南三陸町志津川細浦 2）

10:00~ 供養、 10:40~ ミニライブ（11:00 終了予定）



2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波により倒壊した徳性寺は、現住職で29代になる寺で、柱には約500年前の杉が使用されていた。大川は宮城県沿岸部で被災地支援の活動をしている大矢氏から柱の活用について相談を受け、ギター製作を提案。その後ギター製作会社の経営経験もある椎野氏の協力で寺田楽器蟹江工場（愛知県海部郡）にて

2013年2月、エレキギター4本が完成した。この「徳性寺ギタープロジェクト」は、音楽を通じて東日本大震災の記憶を伝えたいとの思いから始まった。ボディ一部分に徳性寺の柱材が使用され、ヘッド（糸巻き部分）には「徳性寺」の文字が入っており、また付属のヘッドカバーには椎野正兵衛商店特製の横浜シルクが使用されている。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社大川印刷 総務部 田中雄三 e-mail : tanaka@ohkawa-inc.co.jp TEL :
045-812-1131